

あらぐさ

共立高等看護学院第32期生卒業式



卒業おめでとう!!

学院長あいさつ

第32期生のみなさん、卒業おめでとうございませう。
ご家族の皆様、おめでとうございませう。さぞお喜びのことと存じま

す。
3・11東日本大震災および福島原発事故災害から2年を迎えようとして
います。いまだに復旧・復興の目途が立たない中、多くの犠牲者
と震災された方々に対し、改めて皆様と共に哀悼とお見舞いの意を表
したいと思ひます。

さて、32期生の皆さん、国家試験お疲れさまでした。少しは疲れが
とれたでしょうか。良く頑張りましたね。きっと最高の結果が出るこ
とでしょう。

振り返ってみますと32期生は47名の入学で大きなクラスでした。
11月の戴帽式では、それまではなかった立派なパンフレットを自分た
ちで作りました。私達を驚かせました。2年生になり、少し中だるみもあり
ましたが、試験の4カ月実習を乗り越え、大きく成長しました。国家
試験に対しては、なかなかエンジンがフル回転せず、私達の方がハラ
ハラすることもありました。最終盤に来てラストスパイクがかかり
堂々と全員合格の目標を持って臨むことができました。3月25日が楽
しみです。

4月からは、1人ひとりそれぞれの道を歩み始めることとなります。
また、新たな試験と挑戦の始まりです。最初の1年は苦労も多いので
すが、もっとも大きく成長できる大切な1年です。心して頑張り抜い
てください。つらいことがあれば皆さんが通い慣れたあの教務室に來
て話を聞かせて下さい。もちろん、うれしいことがあったら報告して
下さい。私達はそれを楽しみに待っています。

最後にいつも共立高等看護学院卒業生の誇りと自信を持って一歩一
歩前進し、活躍し、立派な看護師になってくれることを期待し、お祝
いのあいさつとします。

上嶋 准嗣



32期生 41名感動の卒業式

3月8日、共立高等看護学院第32期生の卒業式が、多くの来賓（父母のみならず）に見守られる中で挙行されました。卒業証書を授けられた卒業生41名の姿は凛としており、3年間精一杯仲間と共に学び頑張りを抜いた様子が伺えました。

32期生は入学当初40名という大人数のクラスでした。様々な先生から32期生は「個性的なクラス」「個の力を持っているクラス」とよく言われました。だからこそ、集団としてはぶつかることもあり、クラスが本当の意味で団結するには3年の時間が必要であったように思います。その中でも、進路を変更した人、違う学年になった人、それぞれが共に悩んだ仲間との悲しい別れもありました。



また、3年間で恐らく全員一度は、学習に実習に私生活との両立に悩み、立ち止まってしまつたこともあったのだと思います。その時、近くにいってくれたのは、32期生の仲間であり、家族であり、そして私たち職員であり、みんな一人ではないと実感できることが多くあったのではないのでしょうか。悩みの中で成長し、他者の支えを感じた皆さんは、強くなり優しくなり、他者のことを自分のことのように思いやれる、一人一人を大事にできる素晴らしいクラスへと深化したと感じています。



私は、このような32期生の姿から「学生を信じてこゝの大切さを教えていただきました。この32期生からの学びを大切に、あきらめない教育に邁進していきたいと考えています。32期生と沢山笑ったり泣いたり、感動させてもらった時間に本当に感謝しています。あのがこころでした。」

医療の現場へ羽ばたく卒業生たち、これから進む臨床は、尊い命と向き合う場であり厳しい現実も待ち受けています。しかし、そのような時には3年間頑張り抜いた自分自身の足跡、いつも近くには仲間がいること、そして、この共立高等看護学院で学んだこと一つ一つを思い出してせひ乗り越えてもらいたいと思っています。そして患者さんやご家族から「あなたに出会えてよかった」と感謝されるような豊かで温かな看護師へと成長されることを期待しています。そして、卒業後もいつでも、私たち教職員が応援していることを忘れず、また元氣な姿を見せて来て下さいね。「さあみんな、蕾から花咲かせよう！」

32期生担任 成島美里

32期生 答辞

卒業生からの答辞の一部を抜粋し掲載します。落ち込んだり行き話ったりした時に、卒業式を思い出し、力や勇気を与えることが出来たら幸いです。

私たち32期生は、4月から全員が臨床で看護師として働きます。その中には、県外で働く仲間もいます。それぞれ新しい環境、旅立ちにも不安もあります。しかし、ここまで皆で頑張ってきた仲間を忘れず自分に自信を持って患者さんに接していきたいと思っています。私たちは一人じゃない、皆共立高専で学び歩んできた日々を忘れないで進んでいきます。みんなに出会えてよかった。

32期生代表 込山絵梨

2年生コーナー

4ヶ月の各論実習を終えて・・・

32期生は、10月から2月まで4ヶ月の長期の臨床実習を終えました。内科や外科、小児、障害児保育園、生命の誕生に立ち会う母性など、あらゆる経験をたっぷり行うことができました。実習を終えた学生からは、「改めて看護についていな」「友達を助けられるような自分になりたい」という言葉が多く聞かれ、集団としても個としても実り多い実習になったことが伺え担任として嬉しく感じています。

実習後は、後期末試験に挑み、3年次の春に行われるケースレポート発表会の準備を済ませて最終学年に備えています。昨年よりもさらに高いハードルがいくつもあった2年次ですが、この1年を乗り越えられたのは家族の支えがあったからだと感じています。1家族の皆様あらゆる場面でサポートをありがとうございます。

来年度はいよいよ3年生です。クラスの仲間と助け合い・支え合い・仲間を大事にしながら充実した3年次になることを期待しています。

33期生担任 宮川江里

基礎Ⅱ実習を終えて・・・

34期生は2月18日から1週間、基礎Ⅱ実習がありました。今回からは病態学習が加わり、患者さんの体の中で起きている出来事を理解して、このよう

退任あじわい



今年度の月をもって退職するようになった。やり残した仕事や心残りは多分にありますが、この日を無事迎えられました事は、一重に今まで関わっていたいただいた、大勢の皆さんの支援や、ご協力があったからだと深く感謝しております。

03年度に副学院長として赴任しました。以前、一教員として関わらせていただいた5年間を合わせると14年ほど学院に在職していたこととなります。臨床時代の27年を合わせると計41年看護師として働いてまいりました。長かった様でもあり、アツという間違った様にも思います。

その間、結婚、出産、子育て等の自己の発達課題達成のためにも忙しい日々でした。曲がりなりにも続けてこられた要因は何かと考えて見ますと、やはり「看護が好き」だったからだと思います。同時に、患者さんと同じ目線で同じ立場に立ち、同世代を生きている仲間として、一緒に生きにくい環境や社会の仕組みを改善していくという公立病院の理想が、私の生き方と一致していたことも大きかったと思います。学院で過ごせた時間は若い皆さんの姿に励まされたり、自分自身の再発見がある充実した日々でありました。

これからは一地域住民として、共立高等看護学院の応援団をさせていただきたいと思っております。そして微力ながら、どんな状態に置かれていても、人間の「命」を最高の価値と位置づけ、その平等のため、また脅かすものに対しては、何らかの行動をいつていきたいと思っております。

今後の学院の益々の発展と、限りない可能性を秘めた共立高生達の成長を心から願っております。長い間、本当にありがとうございました。

副学院長 三浦昭子



1年生 AED 特別講義



1年生 解剖生理学 演習発表会

な看護が必要とされるのかを学ぶ実習でした。実習中は、患者さんとのコミュニケーションに悩み、看護技術の実践に苦戦し、レポートに追われ寝る時間もほとんどありませんでした。これまで習得した知識や技術を総動員させ、仲間とも協力し合いながらなんとか実習を乗り越えることができました。

この実習を通じて、患者さんの身体面・精神面の理解が必要であり、看護援助は根拠をもって実践されるものであると学ぶことができました。また、お互いに支え合える仲間の存在が大きい事も実感できたと思います。実習が終わった後の34期生は表情が引き締まり、成長した姿を見て担任として非常に嬉しく思いました。

1年次は初めて経験することの連続でした。一人一人の努力と家族の協力を得ながら、目の前の課題を確実に乗り越えながら春を迎えることができました。これからも大きな可能性を秘めている34期生の成長を見守りたいと考えています。

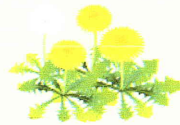
34期生担任 中込英利香

父母の会より

【この間の活動】

1月30日 国家試験勉強会 手作りカレー、クリームシチューを差入れ、伊予柑もプレゼン同様、手作り豚汁を作りました。「キットカット」チョコを差入れしました。
キットカット=きつと勝

3月12日 卒業記念の図書カードを卒業生に贈呈しました。
第3回役員会：総会議案と次期役員体制を検討しました。3年生役員の皆さん、御卒業おめでとうございます。3年間御苦労様でした。



【2013年度父母の会総会のお知らせ】

2013年4月8日(月) 12時 共立高看4階図書室

2012活動と会計の報告 2013年度活動計画と予算 (議案・開催案内3月13日全会員送付)

2013年度

予定：4/8総会 5/18(土)雑草祭(豚汁作り) 7/中旬2年生・3年生部会

11/22(金)1年生戴帽式 2014/3/7(金)卒業式

◇共立高看 教職員活動報告◇

<3/9 第24回山梨県民主医療機関連合会 学術運動交流集会>

□演

「看護教員の授業力向上に関する研究」～教員全員で授業力向上の経験を交流することの意義～ 宮川 江里

「A県連における看護研究の倫理的配慮に関する現状と課題」～倫理審査委員会の倫理審査報告書の分析から～ 押領司 民
ポスターセッション

「A看護学校における母性看護実習の学生の学び」～生命の尊さに焦点を当てて～ 河野 朝呼

<雑誌投稿>

看護教育研究学会誌4巻2号 2012 「看護学生が精神看護学実習で体験した倫理的課題と学び」 押領司 民

～編集後記～

史上最大であり最悪の被害をもたらした3・11から2年経過しました。2年目に当たる11日には甲府市長の呼びかけにこたえ犠牲者への哀悼と復興への願いを込めて教職員と学生は黙祷を致しました。32期生を送り出した3月8日の卒業式は感動的でした。達成感を持ち、次のステップを踏み出そうとしている卒業生の姿は、参列者一同に大きな勇気を与えてくれる力を持っていました。今回のニュースはそんな卒業式のニュースを中心に編集しました。在校生も引き続き頑張っています。あらためて32期生卒業おめでとう!

どんな時代でも、何か起ころうとも前に進む勇気とパワーを持ち続けてほしい。

今後の主な予定

3/25	14時 国家試験合格発表
4/5	始業式
4/8	入学式
4/9	春のケース発表会(3年生)
4/11	防災訓練
4/25・26	グループディスカッション(1年生)
5/17	球技大会
5/18	雑草祭(あらぐささい学院祭)
6/1	創立記念日
6/5	労働体験(2年生)
6/12・13	前期中間試験(1年生)
6/3 ~ 6/21	精神I、地域I実習(3年生)
6/10 ~ 7/12	老年I、小児I実習(2年生)

☆編集委員☆

三浦昭子・水上和貴
中込英利香・藤本未央

